(昭和25年7月9日 第三種郵便物認可)

毎日新聞 常磐版

(一) 昭和28年9月2日 (水曜日) 第9982号

一般平衡交付金割当決る

支給割当率は全國隨一

市町村財源の二十%を占める一般平衡交付金は三十一日全國一の割当で自治庁から県に内定があり総額十四億六千七百二十四万一千円で、昨年に比較して一億二千八百四十九万五千円の増額となつており、更に十六国会で五十億円が増額されることになつているので、県下市町村に対し今後二、三千万円に追加が予想されている、また基準財政収入額が基準財政需要額を上回るためその交付の対象から除外された石城地方の町村は、内郷、湯本、好間、磐崎、錦の五ケ町村となつている

各町村の交附額

平市は一千八百八十余万

平、石城地方の交付される市町村は次の通り(カツコ内は交付金、単位千円)

◆平(一、八、八四五) ◆石城渡辺(二、五八七)、山田(四〇九一)、上遠野(四、六八四)、川部(三、三七九)、夏井(二、三三四)、夏井(二、三一四)、豊間(四、七九〇)、鹿島(一、八九四)、永戸、椚木組合(三、五四九)、赤井(一、三九二)、大浦(一、三九八)、上小川(三、一五六)、川前(四、二四七)、泉(三、〇八〇)、藤田(三、八四六)、勿来(二、九二六)、入遠野(五、四六一)、田人(四、二一七)、高久(二、九二二)、江名(八、二三〇)、小名浜(八、二三三)、沢渡、三阪組合(五、八二三)、草野(三、九六八)、下小川(四、四三三)

湯本幼稚園

整地工事の入札

湯本町で四日午後一時から同町笠井地内、成田山地内の消火バツクの側溝工事、吹矢地内中通り(一間半の三間)、吹矢地内中通りの側溝工事、吹矢の公衆浴場、一浅貝地内に建設される幼稚園整地工事の入札を行う

この幼稚園は約三百五十万円の予算で鎌坪百十四坪の近代的完備された保育施設が建築されるもので、収容人員は二百名となつている

労基法講習会

平労基署では十六日午前十一時から五十名以上の労務者を仕用している事業主を同署に集め労基制度についての講習会を開く

講師には福島労基局佐藤労働事務官が担る

全日本学生書道展 特選に入賞

豊間小校の大峰泰子さん

豊間小学校(校長小林正人氏)は、かれた全日本学生書道連盟主催の第三回全国学童書道展で特選に入賞した同校五年生大峰泰子さんの作品二十四点、ほう賞六十二名がそれぞれ表彰された、同校では三十一日午前九時から賞状、賞品の伝達式を行つたが、同町でも全町あげて喜ぶべきであるとして同日午前十一時から同校講堂に町長以下町の教育関係者ら多数が出席して受賞記念祝賀会を行つた

学童寄生虫検査

平保健所では次の日程で小中学校学童の寄生虫検査を実施する

▽一、二日内郷町宮小学校(検査人員一三二〇名)

▽三日鮫隅村小中学校(二三〇名)

鈴木茂三郎氏來平

〝解散はある〟ご記者会見

左派社会党の委員長鈴木茂三郎氏は二十一日午後四時三十七分平着上り急行で來平、平駅長室で地元記者団と会見

▽両社統一問題については既に結成した統一委員会の活動に待ちたい

▽保安隊問題は国会の政府答弁とは全く逆コースだ

内郷伝染病

昨年より減少

はつきりしない天候に禍されてかめつきり下痢患者が発生し、伝染病発生が予期されているが、モデル地区を町内四ケ所に設置し環境衛生、衛生思想昂揚に努力した結果、内郷町の八月末日現在の伝染病発生状況は昨年度に比較して五十九%(百十名)減少しており

日本学生競技連盟から授与された全国でも三名の特選者中に五年生の大峰泰子さんが入選したほか理特選には四家英雄(五年)草野恵作(五年)鈴木金三郎(五年)鈴木長江(三年)の五名が入賞、秀作に十名 佳作二十四名、ほう賞六十二名がそれぞれ表彰された、同校では三十一日午前九時から賞状、賞品の伝達式を行つたが、同町でも全町あげて喜ぶべきであるとして同日午前十一時から同校講堂に町長以下町の教育関係者ら多数が出席して受賞記念祝賀会を行つた

喜ばしい数字を示している

八月末現在発生状況は(カツコ内昨年度)

◇赤痢四五(九四)、

◇疫痢一六(一二)

◇保菌者九四(一五三)

◇〇紅熱三(五)

◇チフテリヤ一(三)

◇流脳一(一)

◇腸チブス〇(二)となつている

就労停止を解く

印鑑偽造の内郷労務者

浅貝地内に建設される幼稚園整地工事の入札を行う

この幼稚園は約三百五十万円の予算で鎌坪百十四坪の近代的完備された保育施設が建築されるもので、収容人員は二百名となつている

就労紹介窓に偽造した印鑑を捺印して就労を停止されていた内郷町自由労務者木村久三〇ほか十六名の代表者たちは三十一日午前十時から平職業安定所をおとずれ佐藤所長と面会

「印鑑偽造の刑事事件でもこんなに生活はおびやかされない二三ケ月も停止されては生活がおびやかされるのでなんとか再就労させてほしい」と申入れた、同職安所長も事情を聞いてこの申入れを了承、誓約書をとつて九月一日から全員再就労をみとめることになつた

内郷に日本脳炎

学児の研究発表

ペストなどとならんで恐れられている日本脳炎が石城地方にも発生平保健所をあわてさせている内郷町白水字広畑採炭夫渡辺文男さんの次男隆ちゃん(三つ)は九月一日早朝から発熱、もよりの医師の診断を受けたところ午前十一時半疑似日本脳炎と判りたどちに隔離する一方平保健所に届出た、同所では郡下では始めて、県下では二人目の脳炎患者なのでこれを重視、予防課長以下現場に赴き防疫処置をとつているが附近には乳幼児や児童が多く伝染する可能性が濃いので予防方法を指導しているなお隆ちゃんは同町隔離舎に隔離されているが重体である、この病気は死亡率百%といわれるだけにもよりも町村のおかみさんれんに注意をうながしている

平市教育委員会では三日午前九時から平第一小学校講堂で市立小学校児童の自由研究発表会を開く

出生 死亡

出生—平市鎌田町一杉山八良四女登子、平市上平窪字十文田十根本飲平良女保子、平市鍛冶町五吉野良平三男富三郎、平市下川原十六坂本宗一長女桂子

死亡—一日出

氣ゝ毒な未亡人も混る

仲々足を洗いないヤミ屋(2)

常磐線沿線の担ぎ屋は一百名から二百名位といわれ茨城県下の取手附近を中心とするものと双葉郡を中心とするものとに大別されていたが最近茨城方面が農家の手持米がなくなつたので、大部双葉地方に新顔が多くなつたと言われている 駅までかつぎ込む係は三、四十才前後の女が多く中には気の毒な未亡人もいるし、年少の男女も可成り混つている、男では二十才台がほとんどで、中には戦災者が資本金作りにヤミ屋を始めたが 未だに資本がまとまらずなものもいるという かつぐ者は一人で一度に二俵から二俵半位かつぐので、一回に三百俵といわれる 駅まで三往復は普通だという こんな連中はまともに改札口から入らず、大概駅のすぎみて線路から入り込むという悪質手口の者が多い、また車内輸送係は定期券を持つていて、たまに現金欲しさの農家の弱味につけ込んで、大部買あさつたとの報であるという、ひどいのになると、農家でなく、米の配給所ある

才台がほとんどで、中には戦災者が資本金作りにヤミ屋を始めたが 未だに資本がまとまらず仲々足が洗いないという気の毒なものもいるという かつぐ者は一人で一度に二俵から二俵半位かつぐので、一回に三百俵といわれる ヤミ米は約二百俵といわれており、取締のアミにかゝるのがそのうち半分の一位だろうといわれる 駅まで三往復は普通だという こんな連中はまともに改札口から入らず、大概駅のすぎみて線路から入り込むという悪質手口の者が多い、また車内輸送係は定期券を持つていて、たまに現金欲しさの農家の弱味につけ込んで、大部買あさつたとの報であるという、ひどいのになると、農家でなく、米の配給所ある

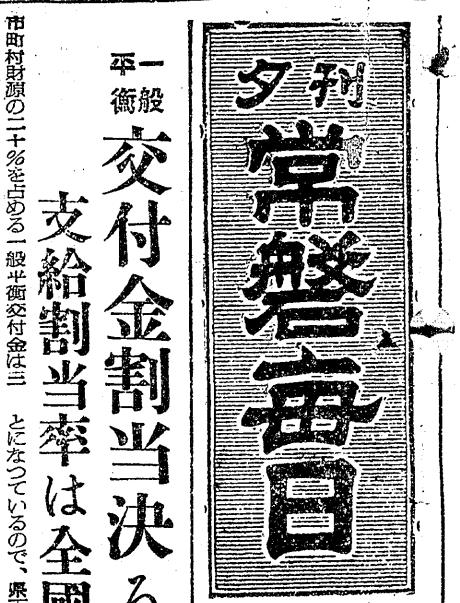
位かつぐ三往復は普通だという こんな連中はまともに改札口から入らず、大概駅のすぎみて線路から入り込むという悪質手口の者が多い、また車内輸送係は定期券を持つていて、たまに現金欲しさの農家の弱味につけ込んで、大部買あさつたとの報であるという、ひどいのになると、農家でなく、米の配給所ある

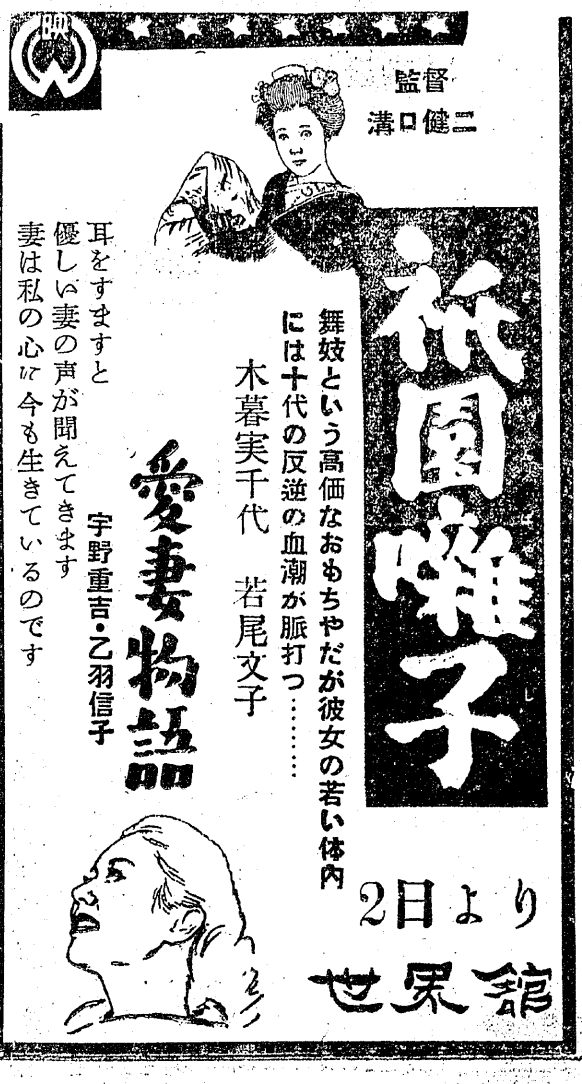
ので、大部双葉地方に新顔が多くなつたと言われている 駅までかつぎ込む係は三、四十才前後の女が多く中には気の毒な未亡人もいるし、年少の男女も可成り混つている、男では二十

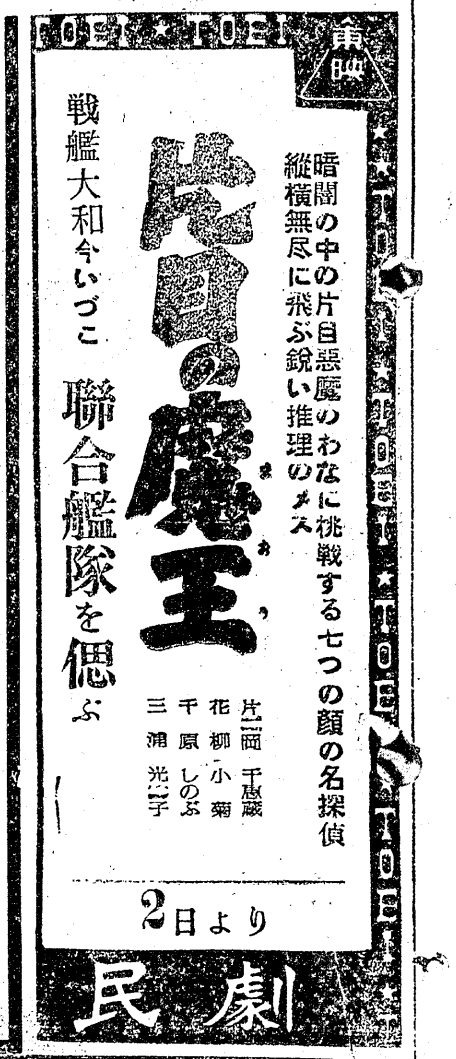
と結託して買込み大口に流しているところもあるという、俗に二一二及び二一〇列車はヤミ列車と呼ばれ必ず普通の日でも四五十俵の米は積込んであるといわれており 列車襲撃もこの夜行列車をねらつて取締る、多い者で日収二千円は下らないという稼ぎなので、一旦その味に染まると仲々足を洗いないのが実情で、またまた政府は米の値上りを発表したので、危険とは知りながらやめられないというところ、今では全く一つの職業化し資本を出している親分など仲々苦労な生活をしているそうである (終)

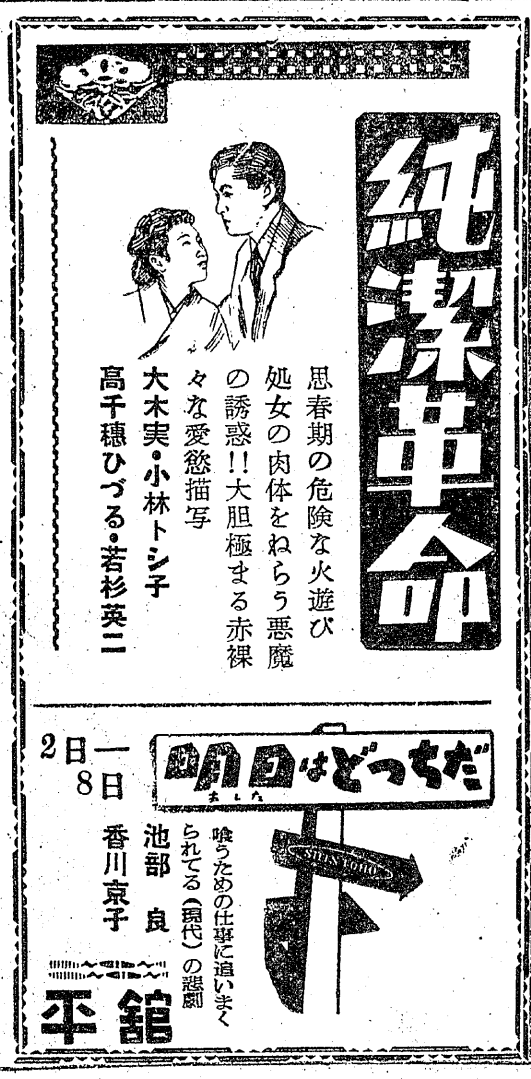
天気予報

(明日)東の風くもりときどき雨 (海上)多少風波があり泉とおしが悪い





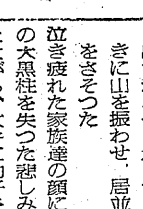




落盤で四名生埋め

柿ノ澤炭鉱所現場の惨

三十一日午前八時二十分ころ田人村貝泊地内柿の沢発電所工事現場山田組担当の工事中の坑道内で落盤事故が発生作業中の山田組人夫赤井村畑子沢滝口忠蔵(四五)同村不動堂加藤久雄(三八)、同村浅口鈴木鐵雄(三二)好間村町南田遠藤忠夫(四七)の四氏は逃げおくれて生埋めとなり、支柱搬作業中の同人夫佐藤実(二九)さんはかろうじて逃げ出したが腰部、脚部などに打撲傷を負うという惨事を引き起した。四名とも絶望とみられている



一名の死体救出

残る三名も全く絶望視

現場では入遠野村、田人村の消防団青年団など百余名の救出隊を繰り出し、徹夜の救出作業に従事しているが、五十米も進んだ坑道内のことであり、作業がはかどらず救出は困難を極めていたが、一日午前二時十分ころ最初の一人滝口さんは死体となつて救出された残る三名も今は全く望みなく、生死を案じてかけつけた家族達もなすすべもなく、互に抱き合つてススリ泣く声だけが静まり返つた山々に伝わり、関係者の涙をさそつていた。完全に全員の遺体が救出されるのは一日正午過ぎになるのではないかと見られる

トロ一つで危機一発命拾い

佐藤さん談

危機一発で危く難を免れた佐藤さんは

「坑木を積んだトロを押して坑道内の作業場まで行くと、トドツという音がして落盤して来たのであわてゝ逃げ出した、作業していた人達とはトロ一台の巨離の差で難をまぬかれたのですが、逃げる際に脚その他に石が落下して打撲傷を負いました、無我夢中で飛び出したので細かいことは記憶してないが、本当にトロのお陰で命拾いをしました」と語つていた

〝もしかしたら〟

一るの望みで見守る家族

事故発生の急報でかけつけた四氏の家族達は、三十一日夕刻から坑道入口近くにたき火をかこみながら、はかどらぬ救出作業に業をにやしながらも、「もしかしたら」生きて居てくれるのではないかと思う一るのの望みを抱きながら、刻々と開けて行く坑道の入口に全心魂を傾注して見守つていたが、一日午前二時十分ころ滝口さんが最初に収容された父の遺体にすがり唯わつとばかりに泣き崩れはたの見る目も気の毒であつた

加藤氏の留守宅

加藤久雄(三八)さんは赤井村不動堂に居る叔母三神キツエさん(五二)方に身を寄せ、附近の炭砿などで働いていたが、職の安定がなく、去る五月初めころから同発電工事に働いていたもの

叔母のキツユさんは「あの子が死ぬなんて考えられない、死に顔を見るまでは」と老の身に涙をしぼつて、ウス暗い坑道入口をしばし放心したかの如く見守つていた

今後どうしたらよいか

鈴木氏の妻談

鈴木鐵雄(三二)さんの留守宅は妻チヨ子さん(三八)長男徳男(六)長女秀子(四)の外に早く両親に死に別れて身寄りない夫の弟勝彦(一四)ヨシ子(一二)義一(九)の三兄妹が居り、働き手を失う痛手はどこよりも大きくとかく病弱だといわれる妻チヨ子さんは「あの人が死ぬなんて今ですらその日の生活に困つている私達が、今後どうしたらよいのか……」とその悲しみは既に涙も尽き果て集つた人々の涙をさそつていた

遠藤氏の家族

遠藤忠夫(宝也)さんでは妻フミヨさん(三八)長男芳弘(一二)勇蔵夫(八つ)三男文夫(宝つ)があり、東白河郡宮本村から好間村に去る五月移つたばかりであつたのだけに

「実家で農業さえしていたら、発電所工事などにわざわざ乗り込んでこなければ」

と発電工事のため移つたばかりに悔が多くまた悲しみも深く一晩中泣き明していた

滝口氏の留守宅

滝口忠蔵(宝四)さんの留守宅は、妻ハツエさん(四)、長女キヨ子(三)次女節子(三)三女チエ子(二)四女ツネ子(二)五女スミ子(一)六女ヨシ子(〇)長男恒男(六)の八人家族で、六才の恒男を除えては、女手ばかりの一家であるだけに悲しみも深く

妻ハツエさんは「夫は勤め口に恵まれず赤井の坑道上南も思わしくなく六月初め柿の沢発電所工事に出たばかりです。その男手を失つては女手ばかりなので」と唯涙で語つていた

不便な赤井岳の中腹に住む家族らは惨事の知らせを受けても現場に急行出来ず、思案に余つていた矢先に幸い取材のため同家を訪問したる本社記者の自動車で現地に送り届けてやつた長女キヨ子(三)さんは幸初に収容された父の遺体にすがり唯わつとばかりに泣き崩れはたの見る目も気の毒であつた

加藤氏の留守宅

加藤久雄(三八)さんは赤井村不動堂に居る叔母三神キツエさん(五二)方に身を寄せ、附近の炭砿などで働いていたが、職の安定がなく、去る五月初めころから同発電工事に働いていたもの

叔母のキツユさんは「あの子が死ぬなんて考えられない、死に顔を見るまでは」と老の身に涙をしぼつて、ウス暗い坑道入口をしばし放心したかの如く見守つていた

今後どうしたらよいか

鈴木氏の妻談

鈴木鐵雄(三二)さんの留守宅は妻チヨ子さん(三八)長男徳男(六)長女秀子(四)の外に早く両親に死に別れて身寄りない夫の弟勝彦(一四)ヨシ子(一二)義一(九)の三兄妹が居り、働き手を失う痛手はどこよりも大きくとかく病弱だといわれる妻チヨ子さんは「あの人が死ぬなんて今ですらその日の生活に困つている私達が、今後どうしたらよいのか……」とその悲しみは既に涙も尽き果て集つた人々の涙をさそつていた

遠藤氏の家族

遠藤忠夫(宝也)さんでは妻フミヨさん(三八)長男芳弘(一二)勇蔵夫(八つ)三男文夫(宝つ)があり、東白河郡宮本村から好間村に去る五月移つたばかりであつたのだけに

「実家で農業さえしていたら、発電所工事などにわざわざ乗り込んでこなければ」

と発電工事のため移つたばかりに悔が多くまた悲しみも深く一晩中泣き明していた

滝口氏の留守宅

滝口忠蔵(宝四)さんの留守宅は、妻ハツエさん(四)、長女キヨ子(三)次女節子(三)三女チエ子(二)四女ツネ子(二)五女スミ子(一)六女ヨシ子(〇)長男恒男(六)の八人家族で、六才の恒男を除えては、女手ばかりの一家であるだけに悲しみも深く

妻ハツエさんは「夫は勤め口に恵まれず赤井の坑道上南も思わしくなく六月初め柿の沢発電所工事に出たばかりです。その男手を失つては女手ばかりなので」と唯涙で語つていた

不便な赤井岳の中腹に住む家族らは惨事の知らせを受けても現場に急行出来ず、思案に余つていた矢

……写真……（右上）殿初に収容された滝口さんの死体収容、中）唯泣き伏す滝口さんの娘さん達（下）坑道の入口（左上）顔写真は上から飯塚、加藤、滝口の二氏

歌謡界のNo.1!!　テイチクの至宝　映画界のホープ　帝都日劇　国際のステージより

田端義夫ま

9月7日
◆ビ　ル……1時◆
◆ヨ　ル……6時◆
◆前　売……¥150◆
◆学　生……¥100◆
小名濱劇場

◎小沢秀夫の指揮する……
楽団レッド、スターズ
◎曾根方オナジミの……
腹話術　ナ　ル　ミ　久
◎司会の名コンビ……
丸の内　助権　十三
◎歌と笑いの……
歌謡漫談ボンボントリオ

9月8日
◆ビ　ル……1時◆
◆ヨ　ル……6時◆
★前　売……¥150★
★学　生……¥100★
平市公會堂

音楽の店　高野文化堂　平駅前通り

主催　責任提供　風戸興行社

皆様の御要望に応じ
東京定期
東京ー平間の荷物一般貸切貨物自動車並三輪車の御用は是非一八七番へ御用命下さい
磐城貨物自動車KK
平営業所　電一八七

◆事務所開設
今般左に弁護士事務所を設けあまねく訴訟事務の依頼に応じます　前判事前検事判官
弁護士　猪狩一
平駅前大通三ノ三ビル三階（電一〇一七番）

アナタハン
戦争の終局さえ知らずにすごした狂乱の孤島に生きぬいた若き女性
藤沢菅根　川村沼岸　巨匠　ジョセフ・フォン
宮下藤山正美　近中明スタン・バーク監督
ひかり座